

外 国 語 学 部

(1995～1999年度に
入学した学生に適用)

英 米 科

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31341 31361	英米演習Ⅲ 1・Ⅳ 1	必	春学期 秋学期	各2	4	有元 将剛	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 言語研究の諸相

【講義内容】 人間言語の特性についての文法研究を行う。英語と日本語は（あるいはどの言語も）お互い無限に異なっているのではなく、英語も日本語も（あるいはどの言語も）人間言語としての1つとして共通な部分を持っている。各言語の一見複雑に見える現象の底に潜む、一般性、規則性を明らかにする。リサーチペーパー作成の指導をする。

【講義計画】 受講者の発表、討論を中心に進める。適宜、課題、レポートを課す。また、リサーチペーパーの中間発表を各段階で行う。

【評価方法】 春学期はレポート、各種課題、ゼミへの貢献度などを含め総合的に判断する。秋学期は主にリサーチペーパーをもとに評価する。

【テキスト】 各種プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31342 31362	英米演習Ⅲ 2・Ⅳ 2	必	春学期 秋学期	各2	4	橋本 惠	
他の科目との関連	「イギリス文学史Ⅰ、イギリス文学史Ⅱ」を履修することが望ましい。					他学科履修	不可

【副題】 二十世紀イギリス小説研究

【講義内容】 今世紀イギリス小説の代表的作品を、小説解釈の方法論を重視して読解する。

【講義計画】 春学期には、リサーチ・ペーパーの研究対象、作品研究題目を決定する。秋学期には、その研究題目にしたがって個別の指導をし、ゼミでは各自による中間発表および討論をする。

【評価方法】 レポートと授業への貢献度を総合的に評価する。

【テキスト】 「M.L.A. 英語論文の手引き」第5版、北星堂書店。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31343 31363	英米演習Ⅲ 3・Ⅳ 3	必	春学期 秋学期	各2	4	WORDELL Charles	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Women in American Literature Ⅲ and Ⅳ

【講義内容】 This course will examine literature written by American women in the 20th century. We will also look at the various roles that women take and have taken in American society. We will study the many forces that have shaped American women: class, race, ethnicity, age, religion, family, love, and work. Special attention will be given to the writing of African Americans, Asian Americans, Native Americans, and other minorities.

In this, the second year of the seminar, students will develop skills in reading so that they can read novels and stories quickly. In this part of the course, they will read more than thirty pages a week. At the same time, they will be choosing a topic for the graduation essay. The last term (September to January) will be spent working on that essay.

- 【講義計画】 First term: Class 1: Introduction; Classes 2-5: African-American women writers (Zora Neale Hurston; Toni Morrison; Alice Walker; Maya Angelou; Jamaica Kincaid); Classes 6-8: Asian-American women writers (Hisaye Yamamoto; Maxine Hong Kingston; Amy Tan); Classes 9-12: Native-American women writers (Leslie Silko; Louise Erdrich's novel, *Tales of Burning Love*).
- Second term: Class 1: Introduction to the Graduation Essay; Classes 2-3: Choice of the Essay; Classes 4-7: Preparatory Research; Classes 8-12: Writing the Essay.

- 【評価方法】 Students will prepare for each class with notes and brief analyses of the writings. Class participation will be essential and students will be expected to discuss their reading in detail. There will be a 2,000-word essay report on Erdrich's *Tales of Burning Love* due at the end of the first term and the graduation essay will be due at the end of the second term.

- 【テキスト】 I will make offprints of the stories and students will be expected to buy *Tales of Burning Love* and any materials they need in preparing their graduation essay.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
31344 31364	英米演習Ⅲ 4・Ⅳ 4	必	春学期 秋学期	各2	4	近藤 祐一
他の科目との関連						他学科履修 不可

- 【副題】 文化とコミュニケーション

- 【講義内容】 演習Ⅲでは、演習Ⅰで学んだ比較文化的視点とは違い、文化と文化が実際に衝突した場合にどうなるのかを扱う。つまり、在日日本人が日本以外の文化に対してどう反応するかや、「帰国子女」、在日外国人留学生の異文化適応など一般に異文化適応やカルチャーショックと呼ばれる行動力・心理的現象を範囲とする。演習Ⅳは主にリサーチペーパーに力点を置き、これまでの演習で考察してきた異文化コミュニケーションの問題を「社会科学的」方法で研究する。
- この演習に登録する学生は「異文化とコミュニケーション」「政治とコミュニケーション」「人間関係とコミュニケーション」「コミュニケーション特殊講義」を履修すること。また、「基礎英語通訳法」、「上級英語通訳法」、「英語スピーチ法」を履修することが望ましい。

- 【講義計画】 演習Ⅲ
異文化コミュニケーションに関する研究の補足
異文化適応について学ぶ
異文化適応対処のプログラムについて学ぶ
調査法とデータ分析の補足
リサーチペーパーのためのデータ収集とデータをどう分析していくかを考えていく
- 演習Ⅳ
シニアプロジェクトのモニタリング
それぞれが準備するリサーチペーパーの題目についての討論とその指導。

- 【評価方法】 演習Ⅲについては期末考査及び2回のレポートにより評価、演習Ⅳについては3回の口頭発表及び期末レポートにより評価する。

- 【テキスト】 Condon & Yousef. (1975) *An Introduction to Intercultural Communication*. Bobbs-Merrill: Indianapolis.
Samover & Porter. (1997) *Intercultural Communication: A Reader* (8th ed.). Wadsworth: Belmont, CA.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
31345 31365	英米演習Ⅲ 5・Ⅳ 5	必	春学期 秋学期	各2	4	岡部 朗一
他の科目との関連						他学科履修 不可

- 【副題】 説得コミュニケーションとしてのコマーシャルの諸相

- 【講義内容】** 英語コミュニケーションにおいて特に重要な概念であるレトリック（説得）の問題に焦点をあてて、アメリカ人の生活に深く根ざした商品コマーシャル、意見広告等の説得形式を扱った演習Ⅰ、Ⅱに引き続き、演習Ⅲ、Ⅳではさらにアメリカのコマーシャルの諸相に焦点をあてて、その説得レトリックの構図を研究する。「政治とコミュニケーション」、「人間関係とコミュニケーション」、「コミュニケーション特殊研究」、「英語プレゼンテーション」等の関連諸科目を同時に履修することが望ましい。
- 【講義計画】** 演習Ⅲでは、アメリカの商品コマーシャルを扱ったテキストの講読と実際の分析を通して、多様なコマーシャルに見られる説得的基盤の理解を図る。演習Ⅳでは、リサーチ・ペーパーに基づいた個人の研究発表を中心にしてクラスを展開する。演習Ⅲ、Ⅳの成果として、アメリカのコマーシャルの説得性をトピックにしたリサーチ・ペーパーを完成する。
- 【評価方法】** 演習Ⅲに課されるペーパーと、演習Ⅳで完成させる英語でのリサーチ・ペーパー、クラスでの口頭発表、それにクラスでの参加度を考慮して、総合的に判定する。
- 【テキスト】** 3年次の英米演習で使用した教科書を継続して講読する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31346 31366	英米演習Ⅲ 6・Ⅳ 6	必	春学期 秋学期	各2	4	高井 次郎	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】** 対人コミュニケーション研究
- 【講義内容】** 演習ⅠおよびⅡで学習した実証的研究の具体例を通じて、コミュニケーション研究の要素を追究する。対人認知、対人関係の樹立や発展、対人葛藤、異性間コミュニケーション、医療コミュニケーションなどのテーマに関する研究論文を取り上げることで、対人コミュニケーション研究の批評能力の育成を目標とする。
- 【講義計画】** 演習Ⅲでは基礎的および理論的研究、演習Ⅳでは応用研究に焦点をあてる。指定された論文、あるいは学生の興味のある論文について、各研究の価値や方法論上の問題点などについて討論する。可能な限り卒論のテーマに一致したテーマを取り扱い、卒論の一助になることを目指す。
- 【評価方法】** 研究批評に関する期末レポート、口頭発表、出席状況などを総合して成績を判定する。
- 【テキスト】** なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31347 31367	英米演習Ⅲ 7・Ⅳ 7	必	春学期 秋学期	各2	4	松永 隆	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】** 第2言語習得と英語教育
- 【講義内容】** 英米演習Ⅰ・Ⅱで学んだ、英語教育と密接に関る第2言語習得研究分野の知識を更に深め、実践研究の方法を習得することを主たる目的とする。中学や高校の英語教師として学習者のコミュニケーション能力を向上させるための教材作成、言語活動の計画、授業改善、教育改革など学習環境に関する理論と実践を学ぶ。
- 【講義計画】** 英米演習Ⅲ
 主要な第2言語習得理論と仮説を批判的に検証し、テキストに基づくプレゼンテーション、テキスト以外の文献研究も含めたディスカッションを通して英語教育の理論と実践を具体的、批判的に考察します。英語教育実践研究の方法を学び、パソコンを利用してデータ分析に必要な統計処理の実習も行ないます。
 英米演習Ⅳ
 春学期に引き続き、英語教育実践研究の方法、データ収集・分析方法をさらに深く学ぶ。卒論であるリサーチペーパーの発表を各段階毎に行い、研究者としての英語教師に望まれる知識と技術の習得を目指し

ます。

【評価方法】 英米演習Ⅲ
小レポート（2回）、プレゼンテーションなどを総合的に評価します。
英米演習Ⅳ
プレゼンテーション、リサーチ・ペーパーを中心に、総合的に評価します。

【テキスト】 未定

【その他】 参考図書
・ Nunan, D. 1992. Research methods in language learning. Cambridge Univ. Press.
・ Hatch, E. & Lazaraton, A. 1991. The Research manual : Design and statistics for applied linguistics. Newbury House.
・ Mitchell, R., & Myles, F. (1998). Second language learning theories. London : Arnold.
・ 清川英男 『英語教育研究入門』 大修館 1990年
・ 菅 民郎 『アンケートデータの分析』 現代数学社 1998年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31348 31368	英米演習Ⅲ 8・Ⅳ 8	必	春学期 秋学期	各2	4	藤本 博	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 第二次世界大戦以降におけるアメリカ合衆国の対外関係

【講義内容】 本演習では、履修者各自のリサーチ・ペーパーの課題設定をもとに、第二次世界大戦以降におけるアメリカ合衆国の対外関係に関わる諸問題を検討する。必要に応じて、アメリカ合衆国の対外関係に関する共通文献についての検討も行う。同時に、アメリカの対外関係を研究するうえでの文献検索・収集の方法についても習得を心がけたい。

【講義計画】 春学期においては、リサーチ・ペーパーの課題設定に基づく共通文献報告ならびに各自による基本文献報告を中心に進め、秋学期においては、リサーチ・ペーパーの進捗状況に応じて、各自による中間報告を中心に進める。

【評価方法】 リサーチ・ペーパーに対する取り組み（演習における文献報告、中間報告等）をもとに評価する。

【テキスト】 随時、指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31349 31369	英米演習Ⅲ 9・Ⅳ 9	必	春学期 秋学期	各2	4	藤本 哲史	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ジェンダーと社会

【講義内容】 このゼミでは、3年次の継続としてさらにジェンダーの問題を追ってゆく。前期は、毎回授業の中に、受講生がリサーチ・ペーパーに関する中間報告を行うことにより、自分たち自身のジェンダーに関する興味や問題意識を披露し、学生間で互いのリサーチに関するアイデアや情報を交換し、ペーパーの質を高めるチャンスを盛り込みたいと思う。リサーチに関しては、仮説設定、分析へと進めていく。また同時に、3年次から取り組んでいるイントロおよび先行研究調査の精緻化を行う。受講生にはグループ・プロジェクトの経験を活かして、各自のリサーチの調査、データ収集を開始してもらい、進行に合わせて分析結果および討論の章を書き始めてもらう予定。

【講義計画】 《春学期》
・ リサーチ・ペーパーの中間報告
・ 仮説と議論の連結：いかに仮説を簡素化し、実証可能なものにするか

- ・データ分析の準備：何に注目し、どのように結果を出すか（質問票の内容を考えながら）
- ・質問票の作成およびプレテスト
- 《秋学期》
- ・Semi-Formal Debate：小グループ対抗形式で、ジェンダーに関する問題に関してディベートを行なう。
- ・Public Speaking：それぞれの受講生にとってジェンダーとは何か、いかに日常生活の中で実践するか、できるか等についてのグループ別発表。
- ・サンプリング、データ入力と分析。
- ・リサーチ・ペーパー全体の整理、最終調整。

- 【評価方法】
- 1 レポート（リサーチ・ペーパー） 40%
 - 2 毎回のゼミでの発表や討論参加に対する積極性 30%
 - 3 出席 30%

【テキスト】 さまざまな本からの抜粋を、リーディング・アサインメントとして用いる予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31350 31370	英米演習Ⅲ10・Ⅳ10	必	春学期 秋学期	各2	4	川島 正樹	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 アメリカ史を主な方法としたアメリカ研究をテーマとする各自のリサーチペーパーの作成

【講義内容】 市民権（公民権）運動史研究に集中した演習Ⅰ・Ⅱで学んだ歴史的方法論や基礎概念をさらに深化させることと並んで、各受講生は個々の関心にしたがって研究テーマを設定し、必要な資料（史料）・文献を集め、批判的に検討し、リサーチペーパーにまとめる。

【講義計画】 演習Ⅲ（春学期）とⅣ（秋学期）を通じて、各自のそれぞれの関心あるテーマに基づいてリサーチペーパーの作成の準備を重ね、完成をめざす。春学期には、まず冒頭の授業で論文の書き方や、そもそも論文とは何かについて確認し、文献検索の方法等を図書館やアメリカ研究センター、さらにはインターネット等を駆使して復習し、つづいて各自のテーマに最も関心のある文献の要約を交代で発表し合い、質疑応答をお互いに重ねることで、基礎的準備を完成する。秋学期には論文の章立てを構成した上で、各自が数度の中間発表を行い、質疑応答を重ねながら、最終的にリサーチペーパーの完成を目指す。

【評価方法】 両学期とも日常のゼミへの参加の内実を基本的に評価しつつ、春学期は主に文献レビューのレポート、秋学期は主にリサーチペーパーをもとに評価する。

【テキスト】 とくに定めない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31351 31371	英米演習Ⅲ11・Ⅳ11	必	春学期 秋学期	各2	4	宮川 佳三	
他の科目との関連	アメリカの外交、国際関係論の基礎（日本とアメリカ）					他学科履修	不可

【副題】 「アメリカ外交と日米関係：日本（人）のアイデンティティ」Ⅲ・Ⅳ

【講義内容】 冷戦期のアメリカ外交の中でアジア政策・対日政策を中心的課題とする。朝鮮戦争、ベトナム戦争を取り上げることにより、米ソの対立が周辺地域において熱戦となる冷戦が持つ他の側面に注意を向け、そうした冷戦情勢が日米関係にどう反映されたのか、を考える。

このような作業のために、アメリカの対外関係を主にアジア政策と日米関係の展開を、まず歴史的に考える。演習Ⅲでは、アメリカ国内の膨張の延長線上に、海外進出—アジアへの進出—特に門戸開放政策を中心とした20世紀前半のアジア・日本に対する政策の展開を整理し、更に太平洋戦争への道をたどり、戦後の占領政策に及ぶ。演習Ⅳでは、占領後のアメリカの対日政策を冷戦政策の中で考える。特にニクソン政権下の対日政策に注目したい。最後に、脱冷戦の時代の日米関係について考える。

こうした日米関係の理解が「日本（人）のアイデンティティ」の問題を考える道を拓くものと考えられる。

- 【講義計画】 英文の論文を主テキストとして使用し、ゼミ生による報告・発表を中心に授業を展開していく。ゼミ生による積極的な問題・テーマへの取り組み姿勢が最も重要視される。
主にアメリカ外交の中でのアジア政策・日米関係を歴史的にたどることになるが、同時に今日のアメリカ外交の動き全般についても問題意識を持って毎時ゼミ生の間で議論してもらう。
リサーチ・ペーパーの指導を夏休み前に開始し、12月・1月に数回のドラフト提出を求め、必要な修正・書き換えを求め、より内容のある論文になるよう指導する。
- 【評価方法】 論文の分担発表、クラスでの積極的なコミットメント、レポート、定期試験、リサーチ・ペーパーを総合的に評価する。
- 【テキスト】 アメリカ外交（史）及び日米関係の歴史を扱った英文論文。
細谷千博編『日米関係史』（有斐閣）
- 【その他】 参考図書
ウィリアム・ニューマン著『アメリカと日本』（研究社出版）
細谷千博編『日米関係通史』（東大出版会）
大下尚一他編『史料が語るアメリカ』（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31352 31372	英米演習Ⅲ12・Ⅳ12	必	春学期 秋学期	各2	4	西村 貞雄	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Globalizationと国際経済問題

【講義内容】 3年次に学んだ国際経済に関する理解を前提に、学生の選択に基づいて具体的な国際経済問題を取りあげ、それに関するレポートを課す。秋学期はそれを発展させてリサーチペーパーの作成に重点をおく。

【講義計画】 学生の選択した問題について論文の紹介と批判、さらにはそれをリサーチペーパーの構想につなげる。秋学期はリサーチペーパー作成の指導を中心とする。

【評価方法】 報告およびリサーチペーパーの評価に基づく。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31620	日英対照研究1	選	秋学期	2	3・4	青柳 宏	
他の科目との関連	「言語研究の基礎」などの科目で、生成文法の統語論の基礎を既修のこと。					他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22761「人類文化学特殊講義（指示の問題）」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31621	日英対照研究2	選	夏期後半	2	3・4	窪 蘭 晴夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目24776「日本語音韻論」を参照

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31622	日英対照研究 3	選	秋学期	2	3・4	斎藤 衛	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22616「言語と知識（統語論）」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31623	日英対照研究 4	選	夏期後半	2	3・4	鷲尾 龍一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22706「対照言語学」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31624	日英対照研究 5	選	秋学期	2	3・4	高野 祐二	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部日本文学学科開講科目 24796「生成文法と日本語」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
31885	国際機構論	選	春学期	2	3・4	宮川 佳三	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 世界平和のための国際機構・機関

【講義内容】 今日の世界には実に多数の国際機構・機関が存在し、そして、その数が急速に増加しつつある。これらの機構・組織・機関の成立の仕方や性格が以前のそれらと比べて異なっている。国際機構の構想は、世界の平和の確保のためのものとしてのものであった。平和のための思想の成長・発展の中で生まれた国際機構・組織・機関は時の流れの中で、更に多くの性格・目的を持った機構・組織・機関を付け加えている。国際社会の変化に伴ない、公的な国際機構・組織・機関以上に民間組織（NGO）の活動の場が増え、かつ求められる時代になりつつある。

本講座はいくつかの代表的な国際機構・組織・機関の発展の歴史的背景と現状を概観し、21世紀の国際関係のあり方と国際機構・組織・機関の役割を考える機会を提供したい。

【講義計画】 国際機構・組織・機関という言葉は多義的に用いられていて、広義には、国際的に活動する団体という意味で、例えば、国連のような政府間組織の他に、民間の国際的非営利団体であるNGO、民間の国際的営利団体である多国籍企業、国連開発計画（UNDP）や国際児童基金（UNICEF）といった国連の補助機関、IMF、世界銀行、GATT、WTOといった経済関係の機関、ASEAN、NATO、WTO、OAS、EUといった地域的機関がある。国際組織は、その設立の基盤や活動の目的・方法を異にする機構を一緒に含めていて、実に多様である。

こうした多様な機構・組織・機関の一部を、その発展の歴史的背景、目的、成果を概説し、そうした機構・組織・機関の必要性・あるべき姿を見直したい。

毎日の新聞報道・テレビ報道に注意を向けることが求められる。小テストをする。

【評価方法】 レポートorブック・レビュー一点、定期試験、小テスト、出席に基づき評価を出す。

【テキスト】 エマニエル・カント『永遠平和のために』（岩波文庫）
横田喜三郎『国際組織の発展』
横田洋三編著『国際機構入門』（国際書院）

【その他】 参考図書
大芝 亮著『国際組織の政治経済学』（有斐閣）
松本三郎他著『テキストブック国際政治』（有斐閣）
横田洋三著『国連法』（東大出版会）
明石康著『国際連合』（岩波新書）
渡部経彦著『国際経済の政治学』（岩波新書）
中山和久著『ILO条約と日本』（岩波新書）
横田洋三編著『国際機構論』（国際書院）
渡部茂己著『国際機構の機能と組織』（国際書院）

外国語学部
イスパニヤ科

外国語学部

(95～99生)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32191	英語Ⅲ (オーラルエクスプレッション)	必	春学期	1	2	MOLOTSI Prisca	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目41134「English Workshop I」を参照のこと

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32195	英語Ⅳ (オーラルエクスプレッション)	必	秋学期	1	2	DEACON Brad	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目41144「English Workshop II」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32291	英語Ⅴ (コンテンツリーディング)	必	春学期	1	3	小宮 富子	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目41275「Reading in English I」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32295	英語Ⅵ (コンテンツリーディング)	必	秋学期	1	3	川島 正樹	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目41285「Reading in English II」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32301 32302	スペイン語Ⅶ (会話) (F S) 1・2	必	春学期	各1	4	PRIETO Paz CARDONA S. M. Paz	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 CONVERSACION VII Y VIII

【講義内容】 El objetivo principal de estas clases es el desarrollar en los alumnos la competencia comunicativa para expresarse oralmente en la lengua española de una forma efectiva. Todas las sesiones de clase requieren de la participación activa de los estudiantes en conversaciones, entrevistas, discusiones, debates y proyectos en parejas y grupos pequeños. Las actividades se basan en la exploración de temas de interés común para los miembros de la clase, y por lo tanto, al principio se aplicará una encuesta para que los estudiantes determinen

aquellas áreas temáticas que sean relevantes para la mayoría. Entre los temas que en años anteriores han escogido los estudiantes encontramos los siguientes :

【講義計画】	Las experiencias personales La gente y la cultura de otros países La personalidad La situación laboral en Japón Los estereotipos culturales Los sueños El noviazgo y el matrimonio Los planes para el futuro La universidad Las noticias El cine El crimen	Las comidas de los países de habla hispana La búsqueda del empleo ideal El arte La gente y la cultura de Japón La educación Los problemas actuales Las vacaciones Las creencias y los mitos Los medios de comunicación La naturaleza El tiempo libre Los cambios a través del tiempo
--------	---	---

【評価方法】 La evaluación final es la integración de los siguientes aspectos : asistencia, participación activa en clase, tareas y proyectos, exámenes orales y autoevaluación.

【テキスト】 Copias de artículos de revistas y periódicos

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32305 32306	スペイン語Ⅷ(会話)(FS)1・2	必	秋学期	各1	4	CÁRDENAS Abel	
他の科目との関連						履修対象学科	不可

【副題】 CONVERSACION VII/VIII

【講義内容】 El objetivo principal de estas clases es el desarrollar en los alumnos la competencia comunicativa para expresarse oralmente en la lengua española de una forma efectiva. Todas las sesiones de clase requieren de la participación activa de los estudiantes en conversaciones, entrevistas, discusiones, debates y proyectos en parejas y grupos pequeños. Las actividades se basan en la exploración de temas de interés común para los miembros de la clase, y por lo tanto, al principio se aplicará una encuesta para que los estudiantes determinen aquellas áreas temáticas que sean relevantes para la mayoría. Entre los temas que en años anteriores han escogido los estudiantes encontramos los siguientes:

【講義計画】	Las experiencias personales La gente y la cultura de otros países La personalidad La situación laboral en Japón Los estereotipos culturales Los sueños El noviazgo y el matrimonio Los planes para el futuro La universidad Las noticias El cine El crimen	Las comidas de los países de habla hispana La búsqueda del empleo ideal El arte La gente y la cultura de Japón La educación Los problemas actuales Las vacaciones Las creencias y los mitos Los medios de comunicación La naturaleza El tiempo libre Los cambios a través del tiempo
--------	---	---

【評価方法】 La evaluación final es la integración de los siguientes aspectos: asistencia, participación activa en clase, tareas y proyectos, exámenes orales y autoevaluación.

【テキスト】 Copias de artículos de revistas y periódicos

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32311 32312 32315 32316	スペイン語Ⅶ・Ⅷ(作文)(FS)1・2	必	春学期 秋学期	各1	4	PRIETO Paz	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 COMPOSICIÓN-Cuarto curso

【講義内容】 El objetivo de este curso de composición es desarrollar en los estudiantes la capacidad de expresarse por escrito de forma más efectiva.

【講義計画】 En las clases habrá presentación, estudio y análisis de modelos de escritura, a lo que seguirá una aplicación práctica de los mismos.

【評価方法】 Para la evaluación se tendrá en cuenta la entrega puntual de las tareas, la calidad de las mismas y el resultado de los exámenes.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
32321 32325	スペイン語Ⅶ・Ⅷ(講読)(FS)1	必	春学期 秋学期	各1	4	高橋 覚二	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 19世紀のスペイン人劇作家 Juan Eugenio Hartzenbusch の悲恋の戯曲を詳読する。精緻な読解力を身につけることを目標とする。

【講義計画】 スペイン語文読解のための着眼点を例文をまじえて解説した後で、第三幕から読む。

授業では、原文の正確な読み取りとより良い日本語訳文の完成を目指す。
受講生は、西和辞典、西西辞典、あるいは古語辞典や文法書などにもあたり、文意解明に努めること。必ず訳文を書いて持参すること。

【評価方法】 筆記試験等に出席を加味して評加。

【テキスト】 Juan Eugenio Hartzenbusch, *Los amantes de Teruel*, Catedra (Madrid)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者		
32322 32326	スペイン語Ⅶ・Ⅷ 講読 (FS)2	必	春学期 秋学期	各1	4	大岩 勉		
他の科目との関連	なし						他学科履修	不可

【講義内容】 現代スペイン語の読解力と表現力の養成を目標とします。新聞、雑誌をはじめ文学作品、その他自然科学系の書籍も含めて、幅広い分野から教材を選んで取り組んでいきます。

【講義計画】 基本的に春学期、秋学期とも同じ内容の講義となります。春学期は特に語彙数を増やすことも目標の1つに設定します。また教材のスペイン語を「ただ日本語に訳せばいい」ということではないことを念頭に置いて頂きます。読解力を高めることを通じて、スペイン語での表現力を身につけることが究極の目標となります。

【評価方法】 出席状況、授業中の態度、定期試験などの内容を踏まえて、総合的に判断します。

【テキスト】 プリントで配布する予定。

【その他】 西西辞典：EI PEQUEÑO LAROUSSE ILUSTRADO 2002

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
32331 32351	イスパニヤ演習Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	4	木下 登
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 学生は各自、リサーチ・ペーパーのテーマを選択し、研究発表を重ねることにより、論文の完成を期するものとする。

【評価方法】 口頭発表およびレポート提出による。

【テキスト】 参考文献等は随時指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
32332 32352	イスパニヤ演習Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	4	高橋 覚二
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 この演習では演習Ⅰ、Ⅱの継続として、現代スペイン語文法の基本的構造を追いかける。春学期は、問題解決のために複眼的な視点からの分析が行なえるように、いくつかの文献を読みこなしながら、文法の個別問題に対する関心や問題意識を披瀝し、お互いの研究に対する情報の交換を行なう。文献検索、用例の収集や整理の方法にパソコンを駆使できるようにしたい。

【講義計画】 春学期は、リサーチ・ペーパー作成のための共通文献の意見交換、各自の個別研究の文献報告、データの収集を中心に進める。秋学期はリサーチ・ペーパーの進捗状況に合わせ発表を随時行ない、意見交換を行ないながら、年末を目処に下書きを完成させる

【評価方法】 レポート（秋学期はリサーチ・ペーパー）、口頭発表、出席状況などを総合して判断する。

【テキスト】 随時指定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
32334 32354	イスパニヤ演習Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	4	佐竹 謙一
他の科目 との関連						他学科 履修 不可

【講義内容】 演習Ⅲでは、Ⅰ、Ⅱに引き続き、スペイン黄金世紀の社会事情を勉強する。しかし、この時期の後半から演習Ⅳでは、リサーチ・ペーパー作成に専念したい。もちろん発表もしてもらう予定である。

【評価方法】 授業出席・参加およびタームペーパー。

【テキスト】 プリントを使用。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
32336 32356	イスパニヤ演習Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	4	遅野井 茂雄	
他の科目 との関連						他学科 履 修	不可

【講義内容】 各自の研究課題を設定し、ゼミでの報告と個別指導を通じて、課題ペーパーの完成を目指す。

【講義計画】 4月末までに基本構想をまとめ、3年生との合同ゼミで発表する。前期は基本文献を読み、報告とディスカッションを続ける。夏休み後の最終報告を経て、12月初めに第一稿、1月初めに第二稿を提出。400字100枚を目標とする。

【評価方法】 平常点、論文及び中間作業による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
32337 32357	イスパニヤ演習Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	4	富野 幹雄	
他の科目 との関連						他学科 履 修	不可

【講義内容】 イスパニヤ演習Ⅰのときに大枠を決めたテーマを収集した資料とつき合せて、より詳細で具体的なものに構成する努力をする。

【講義計画】 Ⅲの授業では、主としてポルトガル語の資料の講読を行い、Ⅳでは学生の研究発表を通じて、リサーチペーパーの最終構成の完成（11月頃）、そして下書きにまで進む。

【評価方法】 レポート、口頭発表、リサーチペーパーを総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
32338 32358	イスパニヤ演習Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各2	4	安原 毅	
他の科目 との関連						他学科 履 修	不可

【講義内容】 ゼミ生各自に、卒業論文作成のための中間発表をしてもらおう。4月末までにテーマを定めて文献を集め、7月までにその内容を整理、検討すること。適宜Eメールを使って3、4年生のゼミ生全員に内容を公表してもらおう。論文は400字100枚程度とし、合わせてホームページによる資料検索、エクセル等を使った図表の作成も練習してもらいたい。

【評価方法】 論文の中間作業、最終的な水準による。

外国語学部

日本語学科

外国語学部

(95
〜
99生)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33201	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	伴 紀 子	
他の科目との関連	「日本語教育セミナー」を履修していること					他学科履修	不可

【講義内容】 各自が選んだ研究課題について発表し、全員で討論する。関連論文の検討は十分に行いつつ、作成中の論文をより充実していく。本科目は日本語教育の分野で卒業論文を執筆する学生を対象とする。故に日本語教育に関する講義を履修していることを条件とする。

【講義計画】 口頭発表及び個人指導によって納得のゆく論文に仕上げていく。

【評価方法】 口頭発表と論文による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33202	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	櫻 井 進	
他の科目との関連	「日本文化学上級セミナーA2」を履していること					他学科履修	不可

【講義内容】 参加者各人の研究課題について発表・討論し、時には関連論文などをもとに研究しながら、それぞれのテーマを追究していくことをめざす。

【講義計画】 参加者各人にその論文概要を発表してもらい、討論するほか、個別の指導を通して、論文を完成させてゆく。

【評価方法】 口頭発表と論文とによる。

【テキスト】 山内志朗『ざりざり合格への論文マニュアル』（平凡社新書）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
33203	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	阿 部 泰 明	
他の科目との関連	春学期の「日本語学上級セミナー」を履習していること					他学科履修	不可

【副 題】 言語学・日本語学の領域での卒論作成

【講義内容】 言語学・日本語学の分野で卒業論文を執筆する学生を対象とする。各自が選んだ研究テーマについて定期的に発表を行い、全員で議論する。関連するトピックについての講義も含む。

【講義計画】 発表と討論＋講義

【評価方法】 レポート

【テキスト】 プリント教材

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33204	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	坂本 正	
他の科目との関連	「日本語教育セミナー」を履修していること					他学科履修	不可

【講義内容】 各自が選んだ卒業論文の課題について定期的に口頭発表を行い、受講生全員で討議し、卒業論文をまとめていく。

【講義計画】 受講生の人数にもよるが、各自2週に一度の割合でそれまでにまとめたものを口頭発表する。

【評価方法】 卒業論文

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33205	卒業論文指導	必	秋学期	2	4	加藤 俊一	
他の科目との関連	「日本語教育セミナー」を履修済みのこと					他学科履修	不可

【講義内容】 参加者各人が研究課題について発表し、討論する。関連論文の研究を通して、それぞれの卒業論文がより充実したものになることをめざす。

【講義計画】 定期的な口頭発表に対して討論するほか、個人の指導を通して論文を仕上げてもらおうようにする。

【評価方法】 口頭発表と卒業論文による。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33411	日本語学特殊講義ⅠA (心理言語学Ⅰ)	選必	春学期	2	2~4	村杉 恵子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部共通科目 40506「心理言語学」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33412	日本語学特殊講義ⅠA (心理言語学Ⅱ)	選必	秋学期	2	2~4	村杉 恵子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目 41553「英語学特殊研究」を参照のこと。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
33418	日本語学特殊講義 I A (記号論理学 II)	選必	秋学期	2	2~4	服部 裕幸
他の科目 との関連						他学科 履 修 可

【講義内容】 文学部哲学科開講科目 11155「論理学 II」を参照のこと。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
33426	日本語学特殊講義 I A	選必	秋学期	2	2~4	町田奈々子
他の科目 との関連	現代日本語の構造（文法）I、II、言語研究の基礎Eを履習済みであることが望ましい。					他学科 履 修 可

【副 題】 UGと言語獲得

【講義内容】 第一言語獲得と第二言語獲得の差に注目しながら、特に第二言語獲得に関して普遍文法が役割を果たすことの可能性を検討する。主に教科書から重要点を追うが、その他にも、第二言語としての日本語の獲得に関する最近の実証的研究をいくつか紹介する。

【講義計画】 講義と討議、そして学生の発表などを組み合わせて進める。

【評価方法】

- ・授業への積極的な参加
- ・小テスト
- ・課題の発表
- ・レポート

【テキスト】 リディア・ワイド著、千葉修司、ケビン・グレッグ、平川真規子共訳『普遍文法と第二言語獲得』 リーベル出版 1992年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33427	日本語学特殊講義 I A (日本語と社会)	選必	秋学期	2	2~4	町田 奈々子	
他の科目との関連	留学生別科の授業との調整の関係上、授業開始は9月12日(木)となる。教室については初日に国際教育センターに確認すること。					他学科履修	可

【講義内容】 留学生別科との共通開講科目である。日本語と社会の関係について、社会言語学アプローチもとりいれながら、日本語の種々の現象を留学生と共に考える。内容的には敬語や授受表現、女性語等、特に留学生が理解に困難を感じる現象に焦点を合わせる。講義、テキストはすべて英語であり、かなりの英文を読みこなす力が要求される。またクラスでは活発な討議も行われる。チームペーパーに向けて留学生と共同のグループプロジェクトが課されるため、出席を重要視する。

【講義計画】 授業で取り上げる項目は以下のものである。

- ・社会言語学概説
- ・日本語の特徴、日本の社会方言
- ・世界の女性語、日本の女性語
- ・差別語
- ・丁寧さの普遍性と日本語
- ・「うち・そと」の概念
- ・敬語
- ・授受表現
- ・人称表現
- ・ノンバーバルコミュニケーション
- ・その他

【評価方法】 出席、クラス討議参加、小テストとチームペーパー及びグループプロジェクトについての口頭発表。

【テキスト】 Cherry, K. (1988) *Womansword: What Japanese words say about women*. New York: Kodansha International.
Suzuki, T. (1978) *Words in Context: A Japanese Perspective on Language and Culture*. Translated by Akira Miura. Tokyo: Kodansha International.
Reading Package *Language and Society in Japan*, prepared by Nanako Machida.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33429	日本語学特殊講義 I A (日本語学の諸問題)	選必	春学期	2	2~4	斎藤 衛	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目22756「人類文化学特殊講義(統語分析)」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33511	英語 II A	選必	春学期	1	3	PURCELL William	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目41224「English Workshop III」を参照のこと

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
33515	英語ⅡB	選必	秋学期	1	3	BEARDWELL Julia	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 外国語学部英米学科開講科目41234「English WorkshopⅣ」を参照のこと

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
33521 33525	英語ⅢA・ⅢB	選必	春学期 秋学期	各1	4	RYCROFT Martin	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 Students will improve English speaking ability through discussions centered on a broad range of topics. Short readings, some writing, and listening will be introduced in order to facilitate the discussions. Students are encouraged to provide input on topics to be covered, as well as to ask provocative questions. The teacher will provide the material for the course, taken from a variety of resource books including current news articles, discussion textbooks, short works of fiction, songs.

【評価方法】 Grades will be based on active participation, attendance and a written assignment at the end of each course on one of the topics covered during the semester.

【その他】 There will be no textbook assigned. The instructor will provide the materials for the class.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
33644	日本語教育特殊講義A	選	秋学期	2	2~4	尾崎 明人	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24836「日本語の会話教育」を参照のこと。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
33645	日本語教育特殊講義A	選	春学期	2	2~4	鹿島 央	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24841「日本語の音声教育」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33667	日本文化特殊講義ⅡA（漢文学講読Ⅰ）	選	春学期	2	2～4	西岡 淳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 漢文学講読

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24726「漢文学研究Ⅰ」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33668	日本文化特殊講義ⅡA（漢文学講読Ⅱ）	選	秋学期	2	2～4	西岡 淳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 漢文学講読・続

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24731「漢文学研究Ⅱ」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33669	日本文化特殊講義ⅡA（宗教人類学）	選	春学期	2	2～4	KNECHT Peter	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22421「宗教人類学」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33675 33676	日本文化特殊講義ⅡA	選	春学期 秋学期	各2	2～4	横山 輝雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文学部英語学英文学科開講科目 14682「比較文化特殊講義AⅠ」、14686 同「AⅡ」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33677	日本文化特殊講義ⅡA	選	秋学期	2	2～4	櫻井 進	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目 24621「日本文化史概説」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33679	日本文化特殊講義ⅡA	選	春学期	2	2～4	高橋 公明	
他の科目との関連						履修対象学科	可

【講義内容】 人文学部共通科目20441「人文学基礎論（日本文化学入門）」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33680	日本文化特殊講義ⅡA	選	秋学期	2	2～4	高橋 公明	
他の科目との関連						履修対象学科	可

【副題】 13～17世紀の東アジアの国際関係

【講義内容】 日本列島内の閉じた空間の出来事として日本史を考えるのではなく、その周辺地域との関わりを重視する。東アジアという地域的な広がりの中で、中世の日本をどのように位置づけうるのか考える。とくに海を舞台にした交通関係に焦点を合わせ、中心一周縁的な見方の相対化を計る。

【講義計画】

- (1) 外国人の見た中世日本：性風俗・女性・奴隷・暴力
- (2) 中世文学のなかの外国と境界：唐人・博多・明州・蝦夷・鬼界が島
- (3) 島のイメージ：楽園・排他性・人食い島
- (4) 海のなかの特異点：琉球・対馬島・済州島・海浪島
- (5) 港町：博多・那覇・寧波・三浦

〈授業の進め方〉
毎回、30分程度でできる簡単な準備作業を指示する。

【評価方法】

- (1) 比較的短い宿題（A4で1枚程度） 3回 60%
- (2) 学期末報告（A4で3枚程度） 40%

【テキスト】 なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
33682	日本文化特殊講義ⅡA (日本美術史特講Ⅱ)	選	秋学期	2	2～4	池田 洋子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 俵屋宗達作品研究

【講義内容】 最近高い価値を持つようになった俵屋宗達はその生涯について詳しい伝記が知られていない。しかし江戸時代の初めに生きて活躍した宗達は、工房的な仕事を続けながら徐々に個人の作品として制作して次々に当時としては実験的な作品を発表した。金銀にしろ水墨にしろ伝統の上に新しい創造を作り上げた造形は古典美の世界に大らかで明るい新しい生命を吹き込んだ作品として現在に残されている。その宗達の作品をスライド等で観賞しながら特色を理解し、その造形意図を考察していく。

【講義計画】

- 1、俵屋宗達の文献資料の概観
- 2、平家納経の補修による作品
- 3、色紙絵
- 4、和歌下絵料紙装飾
- 5、養源院障壁画
- 6、水墨画
- 7、檜繪図屏風

- 8、西行絵巻
- 9、舞楽図
- 10、伊勢物語色紙絵
- 11、源氏物語図屏風
- 12、まとめ

【評価方法】 講義時間内の担当個所の発表・質疑応答・レポート等を総合的に評価

【テキスト】 新潮日本美術文庫『俵屋宗達』新潮社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33683	日本文化特殊講義Ⅱ A (日本美術史特講Ⅲ)	選	春学期	2	2~4	四辻 秀紀
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 人文学部日本文化学科開講科目24656「日本美術史B」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33691	日本語教育セミナーA 1	選	春学期	2	3・4	伴 紀子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 日本語教育に関する主要な論文を選び、内容を検討していく。特に、各自の卒業論文の研究テーマに関連のある論文は積極的に読み、論文作成に結びつけることとする。

【講義計画】 各自の研究テーマの一つを選び、参考文献リストを作成する。その中から最も興味のある、重要な論文を選び、要旨をクラスで発表し、全員で討論する。

【評価方法】 口頭発表とレポートによる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33701	日本語教育実地研究Ⅰ	選	秋学期	2	4	伴 紀子
他の科目との関連						他学科履修不可

【講義内容】 日本語教育実地研究Ⅰでは、基礎日本語教育文法を検討した上で、教場での教具の使い方及び教え方を実習し、実践的な日本語教授法を会得する。実地研究として別科留学生の個別指導を行う。そして、日本語教授見学や会話パートナーを通して、学習者の日本語能力を理解した後、教壇実習へと移る。

この科目を履修する学生は、「日本語教授法」「日本語教育文法」を履修していることが望ましい。尚、日本語教育実地研究Ⅱは休講とする。

【講義計画】 日本語教育実地研究Ⅰ
 1. 基礎日本語文法の検討
 2. 教室での指導法及び教具の使用法の検討
 3. 模擬授業と授業見学
 4. 別科留学生個別指導
 5. 教案作成
 6. 教壇実習
 7. 評価

【評価方法】 教案作成、模擬授業及び実習などの総合評価。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33711	日本語学上級セミナーA1	選	春学期	2	4	阿部 泰明
他の科目との関連	言語学系列で卒業論文を執筆する学生は必ず、この科目を履習すること					他学科履修 可

【副題】 言語学・日本語学のテーマ別研究

【講義内容】 日本語学・言語学の主要文献を検討しつつ、日本語文法や一般言語理論について考察する。学生の発表などを中心に据えて、講義で補強する形を取る。

【講義計画】 口頭発表、討論、講義

【評価方法】 レポート

【テキスト】 プリント教材

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33721	日本文化学上級セミナーA1	選	春学期	2	4	土田 友章
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 文学に見る明治20年代—北村透谷と樋口一葉—

【講義内容】 透谷と一葉の作品のいくつかを精読する一方、同時代の社会・思想の状況を概観して、日本近代と人間とを考える一つの手がかりとしたい。また、いくつかの作品論を読んで、テキストと作品論とのあいだを考える。

【講義計画】 関連資料と時代の概観を適宜紹介する。参加者各人の、透谷・一葉の作品についての分担・報告が求められる。

【評価方法】 次の3点による。1) 透谷・一葉の作品、関連著作などについての分担・報告、2) 積極的参加、3) 期末小論文。

【テキスト】 複写資料。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
33722	日本文化学上級セミナーA2	選	春学期	2	4	櫻井 進
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 宮沢賢治とその周辺——ファンタジーの成立

【講義内容】 宮沢賢治とその文学を生んだ東北の文化を探る。

【講義計画】 前期は、『風の又三郎』・『銀河鉄道の夜』・『注文の多い料理店』・『グスコーブドリの伝記』・『春と修羅』などを、さまざまな視点から読む。また、賢治の文学の土壌にある「東北」の世界、特に山に生

きる人々の文化のありかたへの理解を深めて行く（一部ビデオ教材を使用）。

演習の進め方は、それぞれの作品を詳細に読み、さまざまな解釈の可能性を探りながら、そこで出た問いかけを中心に議論を深めて行くという方法を取る。

後期は、それぞれの関心にしたがったテーマについて発表し、参加者全員で討論を行う。

【評価方法】 発表、質疑応答、レポート、出席など。とにかく自分で問いかけ、問題を解決する過程を重視。

【テキスト】 プリントを使用。

外 国 語 学 部
共通基礎科目

外国語学部

(95
~
99
生)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34005	言語研究の基礎E	選必	秋学期	2	2	斎藤 衛	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部共通科目 20426「人文学基礎論（言語学入門）」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34153	コミュニケーション研究の基礎C	選必	秋学期	2	2	横山 輝雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学部人類文化学科開講科目 22621「言語と知識（コミュニケーションと言語）」を参照のこと。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34701 34705	中級英語会話 I・II	その他	春学期 秋学期	各1	3・4	DYCUS David	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 The main objective of this course will be to help learners consolidate their knowledge of English while learning new words, expressions, and structures. This will be done by studying and discussing topics, which provide a framework for language practice and development. There will also be a focus on phrasal verbs.

【講義計画】 Discussion topics will be drawn largely from the textbook and occasionally from newspaper articles and current news, Grammar, vocabulary, and expressions will be studied as they relate to topics under discussion.

【評価方法】 Final grades will be based on ①attendance and participation and ②a final, end-of-semester written test.

【テキスト】 To be announced.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
34711	中級英語作文 I	その他	春学期	1	3・4	堀部 憲夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 英作文の最終的な目標は自由英作文であると思いますが、そこに至るにはステップをふまなければなりません。まず英語の構造や語法を知らなければなりません。その上に、パラグラフを書いて自己表現ができるようにならなければなりません。そのためには、良く書けているモデル パラグラフを読み、暗誦し、実際に自分で書いてみるべきです。したがって、モデル パラグラフの語法、表現に関するドリルを行い、次にモデル パラグラフの構成、内容の理解をとうして、最終的に自己表現の養成をめざします。

【講義計画】
I. ABOUT ME
(1) My Name
(2) My Family
(3) My Hobby
(4) My Hometown

II. ABOUT MY SCHOOL

- (1) Getting In ...
- (2) Campus Guide
- (3) Club Activities
- (4) My Class Schedule

III. ABOUT MY ROUTINE

- (1) My Home Away From Home
- (2) Eating Out
- (3) Going To School
- (4) My Part-time Job

【評価方法】 授業参加、レポート、テストの成績により評価する。

【テキスト】 A First Step to Paragraph Writing (成美堂)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
34715	中級英語作文Ⅱ	その他	秋学期	1	3・4	堀部 憲夫
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 英作文の最終的な目標は自由英作文であると思いますが、そこに至るにはステップをふまなければなりません。まず英語の構造や語法を知らなければなりません。その上に、パラグラフが書けて自己表現ができるようになればなりません。そのためには、良く書けているモデルパラグラフを読み、暗誦し、実際に自分で書いてみるべきです。したがって、モデルパラグラフの語法、表現に関するドリルを行い、次にモデルパラグラフの構成、内容の理解をとうして、最終的に自己表現の養成をめざします。

【講義計画】

IV. ABOUT MY LEISURE TIME

- (1) Reading
- (2) TV
- (3) Drinking Party
- (4) Church

V. ABOUT PEOPLE AND PLACES I LIKE

- (1) My Loved Ones
- (2) My Best Friend
- (3) My Favorite Haunt
- (4) My Favorite Coffee Shop

VI. ABOUT MY SCHOOL CALENDAR

- (1) Health Check-up
- (2) Examinations
- (3) Vacation Plans
- (4) Cultural Festival

【評価方法】 授業参加、レポート、テストの成績により評価する。

【テキスト】 A First Step to Paragraph Writing (成美堂)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
34721 34725	上級英語会話Ⅰ・Ⅱ	その他	春学期 秋学期	各1	3・4	DYCUS David
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 The main objective of Advanced English Conversation is to further develop students' skills in becoming active English speakers by recording and analyzing topic-based conversations. To achieve this objective, students will be asked to communicate freely in English with all members of the class and periodically record their conversations. Because this class is topic-based, the teacher may introduce related vocabulary and useful

expressions, but students will be responsible for gathering the English they think will be necessary to say what they want to say. Students will also be asked to keep a class notebook for writing new words, expressions, and notes, and for keeping class prints. Topics will change weekly.

【講義計画】 Examples of former students' conversation cards and transcriptions of recorded conversations will be used to introduce particular topics of interest. After learning some vocabulary, useful expressions, or conversation strategies related to a topic, students will then make conversation cards of their own to talk about in class. Three times a semester, students will record and transcribe their conversations.

Sample topics: Music lyrics, world travel, top 5 movies, future dreams, sports & recreation

Sample activities: Listening to music and watching videos, recording and analyzing conversations, comparing conversations with recording partners, making and talking with conversation cards, listening to example conversations from other students

【評価方法】 Students will be evaluated on the following: 1) conversation cards, 2) recorded conversations and analyses, 3) effort and attitude in class, and 4) attendance and punctuality (students missing more than 3 classes will not receive credit).

【テキスト】 "Don't forget your SOCCs!" by Duane Kindt, available from the instructor.

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
34731 ∪ 34737 ・ 34741 ∪ 34747	上級英語作文Ⅰ・Ⅱ	その他	春学期 秋学期	各1	3・4	WRIGHT Mark 他
他の科目との関連	英米学科開講の41201～41217「Writing in EnglishⅢ、Ⅳ」で充当。					他学科履修可